

地域におけるヤングケアラー支援のモデル事業

- (1) 事業実施期間：令和4年7月1日～令和5年3月31日
(公募期間：令和4年4月20日～令和4年5月20日)
- (2) 助成団体数：5（申請団体数：5）
- (3) 助成総額：20,898,000円（事業総額：21,129,400円）
(1団体あたりの助成限度額：5,000千円)
- (4) 事業の要件：ヤングケアラーについて、①又は②に加え③を行うもの。
 - ①社会的認知度向上の取組み（フォーラム等）
 - ②ピアサポートなどの具体的な支援の実施
 - ③事業成果報告書の提出

- (5) 各団体の申請事業の概要
 - これまでの活動を活かし・発展させた事業
 - ・これまでヤングケアラーと思われる子どもたちも含めた食事や学習支援等を行っていた団体が、今回の助成事業を機に、ヤングケアラーへの継続した支援を行うため、その支援スキルを活用し、ヤングケアラーにかかる相談、体験活動、居場所づくり等を行うとともに、行政等との連携会議や地域住民への啓発セミナー等を実施。
 - 当事者（現・元ヤングケアラー）によるピアサポート事業
 - ・当事者同士が安心して経験を語り合う「つどいの場」等の開催に加え、ピアサポートの充実や当事者支援で培ったスキルの周知等を実施。

社会福祉法人 八尾隣保館 **学習支援 びはーと** **4,955,000 円**

●事業計画
 ・学習支援を通じた居場所の提供と相談の場（週2回）
 ・ヤングケアラー支援に係るポスターの作成、関係機関等への配付。
 <団体のこれまでの取組等>
 母子生活支援施設等を運営。退所者へのフォローアップ、又は、行政や地域の小中学校等との連携体制の中で、支援の必要な子どもの発見や発見後の連携を推進。
<https://yaorinpokan.or.jp/>

一般社団法人 こもれび **「夢をあきらめない！」** **2,788,000円**
～ヤングケアラーと社会をつなぐ架け橋事業～

●事業計画
 ・子ども食堂（月2回）、体験学習（月1回）、放課後の居場所（月4回）
 ・親・子相談（月2回）
 <団体のこれまでの取組等>
 大阪市子ども自立アシスト事業の受託。居宅介護支援、児童発達支援、放課後等デイサービス等の運営。自主事業で、子ども食堂や不登校の子ども支援などに取り組む。
<https://www.kmrb.jp/>

NPO法人 やんちゃ まファミリーwith **「ほっといたらアカン！子どもが子どもらしく生きる」を支える** **3,245,000 円**

●事業計画
 ・地域住民への啓発フォーラムの開催（年1回）
 ・相談窓口の設置（月4回）、支援コーディネート、支援員による個別支援（随時）
 ・啓発フォーラム開催及びヤングケアラー支援のためのサービス開発ができるよう、関係者による会議を立ち上げ、講習会や支援策の検討を実施（月1回）
 <団体のこれまでの取組等>
 松原市地域子育て支援事業の受託、子ども食堂、おやこ食堂など子どもの居場所に関する事業や子育て・教育に関する相談事業等を実施。行政や市社協等と連携
<https://yanchama.net/>

特定非営利活動法人 み・らいず2 **ヤングケアラーの子どもたちが「自分」を優先し社会参加できるプロジェクト** **4,910,000 円**

●事業計画
 ・啓発セミナーの開催（年2回）
 ・調理や食事を通じた体験学習、相談の機会の提供（自分時間プロジェクト 月5回）
 ・多様な職種（カウンセラー、ネイリスト、看護師等）からの話を聞き、将来を考える機会を提供（あきらめずにチャレンジしていいよプロジェクト 月1回）
 <団体のこれまでの取組等>
 堺市ユースサポートセンターの受託。計画相談支援、居宅介護、放課後等デイサービス、就労移行支援等の運営。日本財団の助成により子ども第三の居場所等を運営。
<https://me-rise.com/>

特定非営利活動法人 ふうせんの会 **ピアサポートの力によるヤングケアラー支援のモデル構築事業 ～大阪府枚方市を中心としたヤングケアラーの居場所の創出と啓発～** **5,000,000 円**

●事業計画：・つどい（年3回）、オンラインサロン（毎回テーマを設け多世代の当事者の語りの場）（年4回）、ピアサポーター研修の実施（2回）、ピアサポート向上につながる小冊子発行・啓発チラシの作成、シンポジウムの開催（年1回）
 <団体のこれまでの取組等> ヤングケアラーの当事者の会として、ヤングケアラーのピアサポートや啓発活動、関係団体との交流・連携などを実施。
https://peraichi.com/landing_pages/view/balloonyc/